

## 原料費調整制度に基づく2024年2月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年2月検針分の単位料金を調整した結果、2024年1月検針分と比べ、1m<sup>3</sup>(45MJ)につき1.69円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に30m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2024年1月検針分と比較して、51円(消費税込)ガス料金が上がります。

なお、2024年2月検針分は、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」にて支援される補助金<sup>\*1</sup>により、15円/m<sup>3</sup>の値引きを行っております。

補助金適用前との比較では、450円(消費税込)ガス料金が引き下げられています。

2024年2月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

\*1 2023年9月検針分までは30円/m<sup>3</sup>の値引き単価、2023年10月検針分からは15円/m<sup>3</sup>の値引き単価となります。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)をご覧ください。

## 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

	(消費税込)					
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～20m <sup>3</sup>	料金表B 21～80m <sup>3</sup>	料金表C 81～200m <sup>3</sup>	料金表D 201～500m <sup>3</sup>	料金表E 501～800m <sup>3</sup>	料金表F 801m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> ) (参考)	160.42	145.57	143.37	140.07	131.27	123.57
補助金適用前 調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> ) (参考)	175.42	160.57	158.37	155.07	146.27	138.57
1月 調整単位料金	158.73	143.88	141.68	138.38	129.58	121.88

## 2. 標準家庭における影響

	(消費税込)			【参考】補助金適用前	
1ヵ月のご使用量 30m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2024年1月 <sup>*2</sup>	2024年2月 <sup>*2</sup>	増減	2024年2月 適用料金	補助金適用 前後の差
適用料金(円/月)	5,372	5,423	51	5,873	450

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

\*2 補助金適用により、15円/m<sup>3</sup>値引きされています。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2023年8月～2023年10月 の平均 (1月検針分)	2023年9月～2023年11月 の平均 (2月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	89,210	91,060	1,850
LNG	89,220	90,700	1,480
LPG	84,950	93,100	8,150
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	31,900	33,800	1,900

- ・ LNG価格、LPG価格とともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 90,700 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 93,100 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

91,057.79

↓(10円未満四捨五入)

91,060 円/t

##### ■原料価格変動額の算定

$$91,060 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = 33,810 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

33,800 円/t

##### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\text{単位料金調整額} = 33,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0891^{*3}$$

(補助金適用前)

$$= 30.11 \text{ 円}^{*4}$$

\*3 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

\*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

##### ■単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = 30.11 \text{ 円} - 15 \text{ 円} = 15.11 \text{ 円}$$

(補助金適用後)

### 5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + 15.11 \text{ (円)} \times 30 \text{ m}^3 \\ &\text{料金改定時の基準単位料金(税込) } \uparrow \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \\ &= 5,423 \text{ 円} \quad \cdot \text{本体料金は小数点以下切捨て} \end{aligned}$$

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金 (ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格 (57,250円/t) 」と「平均原料価格 (料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定) 」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0891円 (0.081円に1.1 (消費税) を乗じた値) 単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円 (調整上限) を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。